

新入生合宿研修を終えて

学生支援委員会委員 田 中 礼
顎顔面放射線学分野・助教

4月11日(土)、12日(日)の2日間、平成21年度新潟大学歯学部新入生合宿研修が、新潟厚生年金スポーツセンター(ウェルサンピア新潟)で開催されました。新入学生72名、学生アシスタント4名、教職員24名に、オブザーバーの先生を迎え、

参加者は総勢101名。大変にぎやかな合宿研修でした。プールもあるし、みんなでワイワイ楽しそう。いえいえ、スケジュールはなかなかタイトです。2日間にわたる「自己研鑽」の様子をご紹介します。

【日 程】

4月11日(土)		4月12日(日)	
8:35	歯学部出発(バス)	6:30	起床
8:45	新潟大学西門出発(バス)	7:00	朝食
9:15	会場到着 写真撮影	8:30	全体ガイダンスII
9:30	全体ガイダンスI	9:00	BLS講習
10:40	自己研鑽セミナーI	11:20	閉会式
12:30	昼食	11:45	会場出発(バス)
13:30	自己研鑽セミナーII	12:15	歯学部到着・解散
17:15	入浴・自由時間		
18:15	夕食(クラブ・Wホーム紹介)		
20:00	教職員と懇談/プロダクト作成		
22:00	就寝		

4月11日(土)

よく晴れ、絶好の合宿日和(?)となりました。マイクロバスの到着が予定より少し遅れてバタバタしましたが、まずは会場入り口で集合写真の撮影です。「ハイ、もう一枚」。3枚目くらいからは

Vサインも出て、皆さん表情がすいぶん軽くなりました。(写真①:会場到着・写真撮影)

9:30からは全体ガイダンスI。前田歯学部長、齊藤(力)副病院長、絹川新潟大学理事からご挨拶をいただき、参加スタッフ紹介の後、歯学部の



写真①



写真②

カリキュラム、全国共用試験、院内感染対策、学生支援とセクハラ相談に関する事など、充実した学生生活を送るうえで大切なことについて担当教員から説明がありました。またも、緊張の面持ち。(写真②：全体ガイダンスI)

いよいよ8班に分かれて自己研鑽セミナーの始まりです。自作のネームプレートをつけたら2人1組になり他己紹介(グループのみんなに自分ではなく相手のことを紹介します)のための情報収集を行います。2分間でいろいろ質問するのは案外難しいことです。でも、これで少しグループのメンバーと話しやすくなりました。(写真③：ネームプレートをつけて他己紹介)

つづいて、「砂漠で遭難したときにどうするか(NAS Aの問題)」というシナリオをもとにしたコンセンサスゲームを行いました。最寄りの居住地までは100km以上ある灼熱の砂漠で遭難した時に、所持している12個の品物について、生き残るためにどう順位づけするか、という問題です。個人個人の意見とグループの意見から、集団討論の方法について学びました。白熱した討論の結果、生き残れたグループは？ 単独行動していれば生き残れたはずなのに！ ここが砂漠じゃなくて良かった、ホント。

ようやく、お昼ご飯です。今日はまだまだ続きます。

昼食後は、13:30から17:00まで自己研鑽セミナーIIです。「面接試験にもの申す『異論/反論/オブジェクション』—面接試験での問題点と対策を検討する—」というテーマで、受験生の視点から面接試験の良い点、問題点とそれらに対する対



写真③

策を考えてもらいました。K-J法や二次元展開法といった手法を用いて各グループで討議し、プロダクトを作成し、全員の前で発表してもらいました。ここで出された貴重な「生の声」は新潟大学歯学部面接試験に反映されているそうです。ここぞとばかり、鋭い意見が続出しました。(写真④：K-J法、写真⑤：プロダクトづくり、写真⑥：発表時間、写真⑦：発表D班、写真⑧：発表F班)

1日目の終盤。夕食の時間に合わせてクラブ紹介のために先輩学生が集まりました。ちょっと過激なパフォーマンスもありましたが、びっくりしたり、笑ったり、和気藹々。先輩たちの「新潟大学歯学部へようこそ」の気持ちを感じてもらえたことと思います。その後、教員との懇談会も大いに盛り上がりました。(正直言って、あんなにたくさんの学生に参加してもらえるなんて想像してなかったもので、感激しました。)(写真⑨：夕食)

4月12日(日)

2日目の朝。6:30起床、7:00朝食、8:30から全体ガイダンスII。寝坊した学生はいなかったようです。昨晩は、プロダクト作成や懇談でかなり遅くまでがんばっていましたが、若いって強い。

9:00から2日目のメインであるBLS講習会が行われました。Basic Life Supportの頭文字をとってBLS。意識を失った傷病者に対して、器具や薬剤を用いないで行う一次救命処置をいいます。講師の歯科侵襲管理学分野准教授の瀬尾憲司先生から説明を受けた後、新入生全員がグループに分かれ、マネキンを使って救命処置を



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨

実践しました。意識の有無の確認、呼吸の有無の確認と気道の確保、人工呼吸、心臓マッサージなど、実際にやってみると想像以上に体力がいりません。懸命に息を吹き込んでもマネキンの胸はなかなか膨らんでくれないし（ちゃんと空気が入ると膨らむ仕掛けです）、心臓マッサージのリズムは速く、メトロノームが容赦なくリズムを刻みます。（写真⑩：BLS）

この一連の処置の中で、AED(Automated

External Defibrillator; 自動体外式除細動器)の使い方も習い、実物ではないのですが模擬実習を行いました。AEDは、痙攣してポンプの働きを失った心臓に電気ショックを与え、正常なリズムに戻る医療機器です。駅や空港、ホテル、学校、劇場、スポーツセンターなど、人が多く集まる場所を中心に、いたるところでよく見かけますが、5年ほど前から医療従事者ではない一般の人でも使えるようになりました。心室細動を起



写真⑩

こすと、1分経過するごとに助かる確率が約10%減るそうです。救急車が現場に到着するまでの平均時間は約6分。医療従事者としての第一歩を踏み出した新入生全員が、この6分間の一次救命処置がいかに重要かを認識し、汗をかきながら真剣に取り組みました。(写真⑩：AED)

新入生合宿研修のすべてのプログラムが終了し、閉会となりました。自己研鑽の成果はいかがでしたでしょうか。新潟大学歯学部は、人間性豊かで自ら問題を解決できる能力を持つ歯科医師を育てることを目標としています。この合宿研修プログラ



写真⑪

ムから、コミュニケーションのあり方の基本、問題を見つけ解決方法を探ること、人と議論することの重要性など少なからず学んだことと思います。そして、一番の収穫は、土曜日の朝の堅く不安そうな表情が、日曜日には見えなくなったことではないでしょうか。昨日は知らない人だらけだったけれど、今日はみんなが仲間になって心強い気持ちですよね。卒業までずっと一緒ですから良くも悪くもありますが、是非、この合宿研修での成果を生かし、互いを尊重し、協力し、深く議論し、互いを高め合える関係を築いてください。